

清須市立中学校部活動の今後のあり方について

1 部活動地域移行・地域連携について

(1) 国が目指す環境整備について

スポーツ庁及び文化庁は、令和4年12月に「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を策定した。このガイドラインでは、中学校の生徒の学校部活動及び地域クラブ活動を主な対象としている。

ア 休日の活動の在り方を検討

- まずは、休日における地域の環境の整備を着実に進める。
- 平日における環境整備については、できるところから取り組む。

イ 検討体制の整備

- 教育委員会、地域スポーツ・文化芸術団体、学校、保護者等の関係者からなる協議会等を設置し、アンケートなどを通じて、ニーズを把握しつつ、整備方法等を検討し実行する。

ウ 段階的な体制の整備

<地域移行>

民間事業者、地域のスポーツ協会・文化協会など、多様な運営団体・実施団体が公共施設や自ら保有する施設を活用して、生徒が参加する体制。

<地域連携>

拠点校方式による合同部活動を導入しながら、学校設置者や学校が地域の協力を得て、部活動指導員や外部指導者を適切に配置し、生徒の活動環境を確保する体制。

- 直ちに、地域移行を整備することが困難な場合は、当面の間、地域連携を導入して環境を確保することも可能である。

エ 休日の学校部活動の地域移行・地域連携の段階的推進

- 国としては、令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間と位置付けて支援しつつ、市区町村においては推進計画の策定等により、休日の学校部活動の段階的な地域移行・地域連携を進める。
- 市区町村によっては、合意形成や条件整備等のため時間を要する場合も考えられることから、地域の実情等に応じて可能な限り早期の実現を目指すこととし、国及び都道府県は適切に指導助言を行う。

オ 本市の課題点

令和7年度末をもって小学校部活動が廃止となるため、令和9年4月以降の新1年生(現小学校4年生)からは、経験したが1年間以上のブランクがある又は小学校での部活動を全く経験していない状況となる。

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
小5 部活動(小) 2年目	→ 小6 部活動(小) 3年目	→ 中1 部活動(中) 1年目	→ 中2 部活動(中) 2年目	→ 中3 部活動(中) 3年目	→ 高1
小4 部活動(小) 1年目	→ 小5 部活動(小) 2年目	→ 小6 なし	→ 中1 部活動(中) 1年目	→ 中2 部活動(中) 2年目	→ 中3 部活動(中) 3年目
小3 対象外	→ 小4 部活動(小) 1年目	→ 小5 なし	→ 小6 なし	→ 中1 部活動(中) 1年目	→ 中2 部活動(中) 2年目
小2 対象外	→ 小3 対象外	→ 小4 なし	→ 小5 なし	→ 小6 なし	→ 中1 部活動(中) 1年目

(2) 清須市立中学校の部活動の現状について

ア 児童生徒、保護者及び教員（中学校）に実施したアンケート結果について

- ＜教育委員会委員の意見＞
- 顧問の先生が大会や学校外遠征の引率で苦慮していることが分かった。そのような部分を先生以外の外部指導者ができるようになり、先生の負担が軽減されるとよい。
 - 大会等の頑張っている様子を顧問の先生や担任と外部指導者とで情報共有できる体制が構築されるとよい。また、試合によっては外部指導者に代わり、顧問の先生が監督指導できる体制が整備されるとよい。
 - 外部指導者によって専門的な技術のスキル向上につながってよい反面、部活動は競技性だけではなく、他者との協調性の構築など教育的要素も大きいため、学校外の指導者でその部分がどこまで養われるか不安な点もある。
 - 子どもは先生の顔を見ると安心するため、外部指導者を導入した後でも、先生方が部活動に携われるような体制を希望する。
 - 部活動の地域移行・地域連携は、教員の働き方改革が根幹にある。部活動の負担が軽減されれば、国が示す月 45 時間以内の時間外勤務は可能となるのか、アンケートで聞ければなお良かった。
 - 子どもによっては、スポーツ推薦を狙う生徒もいるため、そのような生徒がどうなっていくのか様々な課題がある。
 - アンケートによって、教員、児童生徒及び保護者の率直な意見が聞けた。これを検討材料として、他市町のやり方も参考としながら進めていくとよい。
 - 教員が部活動を負担と感じていることがアンケートから分かったが、やりがいもあり、地域移行や地域連携された後も携わりたいと考える教員もいる。この方たちの想いを含めて検討していくことが必要である。

イ 清須市部活動検討部会について

令和 6 年 11 月 19 日に部活動検討部会を開催。

部会委員として、学校長 2 名、部活動に携わる教員 4 名が参加し、本市における部活動の課題と現況整理、アンケート調査結果、今後のスケジュール（案）について確認し、意見等を聴取。

- ＜参加者意見等＞
- アンケート結果より、顧問の先生が大会や遠征の引率で苦慮していることがわかったため、その負担軽減につながる形になるとよい。
 - 専門的知識を持つ外部指導者による指導にメリットは多くあるが、部活動のもつ他者との協調性構築等の教育的要素がどこまで保たれるのか未知数。
 - 外部指導者を導入しても、教員が部活動に携われるような体制の希望がある。
 - スポーツ推薦を狙う生徒もいるため、大会への参加等、どのようになるのかに課題が残る。
 - 小学校部活動がなくなっても中学校部活動への参加は、スムーズに行くのではと考える。
 - 現在外部指導員による部活動をしている学校では、ボランティアで参加してもらっているため、講師や外部指導者へ謝金ができる体制を整備してほしい。

ウ 今後のスケジュールについて

